

# 第 195 回兵庫県外科医会学術集会

日時 令和 6 年 5 月 25 日 (土) 午後 2 時 30 分

場所 スペースアルファ三宮

兵庫県神戸市中央区三宮町 1-9-1 三宮センタープラザ東館 6F

TEL : 078-326-2540

I (司会) 開会の辞 副会長 黒田 大 介

II 会長挨拶 会長 池内 浩 基

III 一般演題 (14 : 35~15 : 35)

※各演題とも発表 5 分, 質疑 3 分といたします.

座 長 兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患外科 臨床講師 桑 原 隆 一  
神戸大学医学部附属病院 食道胃腸外科 助教 澤 田 隆一郎

1 「直腸癌術後補助療法中に全身性アミロイドーシスが顕在化した 1 例」

甲南医療センター 消化器外科<sup>1</sup>, 病理診断科<sup>2</sup>

○北村優<sup>1</sup>, 黒田大介<sup>1</sup>, 川島龍樹<sup>1</sup>, 小倉佑太<sup>1</sup>, 音羽泰則<sup>1</sup>, 瀧口豪介<sup>1</sup>,  
後藤直大<sup>1</sup>, 藤田敏忠<sup>1</sup>, 具英成<sup>1</sup>, 高橋卓也<sup>2</sup>

2 「盲腸後窩ヘルニア嵌頓の一例」

神戸赤十字病院 外科<sup>1</sup>, 兵庫県災害医療センター 救急部<sup>2</sup>

○福本茉央<sup>1</sup>, 服部賢司<sup>2</sup>, 大久保悠祐<sup>1</sup>, 河本慧<sup>1</sup>, 久保田哲史<sup>1</sup>, 石堂展宏<sup>1</sup>,  
門脇嘉彦<sup>1</sup>

3 「魚骨直腸穿通によるフルニエ壊疽の 1 例」

甲南医療センター 消化器外科

○石橋侑樹, 瀧口豪介, 黒田大介, 川島龍樹, 北村優, 小倉佑太, 音羽泰則,  
後藤直大, 藤田敏忠, 具英成

4 「巨大大腸動静脈奇形の 1 切除例」

明和病院 外科

○古出隆大, 生田理沙, 野村和徳, 松木豪志, 長野心太, 一瀬規子, 藤川正隆,  
笠井明大, 中島善隆, 岡本亮, 仲本嘉彦, 生田真一, 相原司, 柳秀則, 山中芳樹

5 「クローン病術後短腸症候群に対して GLP-2 アナログ製剤を使用し、  
在宅中心静脈栄養療法を離脱できた一例」  
兵庫医科大学 炎症性腸疾患外科<sup>1</sup>，兵庫医科大学 下部消化管外科<sup>2</sup>  
○高田侑弥<sup>1</sup>，長野健太郎<sup>1</sup>，内野基<sup>1</sup>，楠蔵人<sup>1</sup>，桑原隆一<sup>1</sup>，堀尾勇規<sup>1</sup>，木村慶<sup>2</sup>，  
片岡幸三<sup>2</sup>，別府直仁<sup>2</sup>，池田正孝<sup>2</sup>，池内浩基<sup>1</sup>

6 「腹腔鏡下に修復した食道破裂の一例」  
北播磨総合医療センター 外科・消化器外科・乳腺外科  
○横田雅治，森晴香，吉田星也，永澤園子，緒明碩，小林良彰，山崎悠太，  
石田苑子，清水貴，御井保彦，松本拓，柿木啓太郎，岡成光，中村哲

7 「Pfannenstiel 切開にて摘出した後腹膜成熟嚢胞性器警手の一例」  
甲南医療センター 消化器外科  
○崔修永，音羽泰則，黒田大介，川島龍樹，北村優，小倉佑太，瀧口豪介，  
後藤直大，藤田敏忠，具英成

#### IV 特別講演（15：50～16：50）

「外科治療を軸とした膵癌集学的治療の進歩」

座 長 甲南医療センター 消化器外科

部長・低侵襲ロボット手術センター長 黒 田 大 介

講 師 近畿大学医学部 外科学教室 肝胆膵部門

主任教授 松 本 逸 平

V 閉会の辞 副会長 黒 田 大 介

#### VI 情報交換会（17：00～18：00）

兵庫県外科医会  
協賛 コヴィディエンジャパン株式会社